

# 川波だより

## 祝ご卒業

島高での出会い、偶然から必然へ



同窓会長  
鈴木 善彦 15 回生

ご卒業おめでとうございます。  
みなさんは島田高校創立100周年の年の卒業生、この巡り合わせに喜びだけでなく、戸惑いを感じた方もいたかも知れません。でも、みなさんは立派に100周年学年の役割を果たしてくれました。みなさんの島高生活は歴史と伝統を継承するにふさわしく誠実でした。

長く生きてきてよく思うことは、偶然の出会いこそ人生ということですね。たとえば、島高への受験も、親友や恩師や、校歌との出会いさえ偶然のことでしょう。それらがいつの間にか必然のように見え、かけがえのない人生の一部になるから不思議です。創立100周年をはじめ、島田高校で出会った皆さんの偶然がみなさん



の大切な人生の宝物となつて、みなさんを支え、元気づけ、楽しませてくれることを確信しています。さらには、そうした出会いがみなさんの今後の成長の糧になることを同窓会室から願っています。



## 先輩からのメッセージ

同窓会副会長 鶴木文司 27 回生

大学生生活、金は無くとも時間有り、皆さんは小中高と過した地元を離れ、これから県・国へと活動範囲を拡げて行きます。色んな人と出会い、色んな経験をしながら青春を満喫して下さい。大学生生活を先輩社会人として一言。学生時代は自由になるお金は無いと思いますが、自由になる時間はたっぷりあります。是非ともその時間を読書に費やして下さい。皆さんは高校時代には授業・部活動・受験勉強と読書の時間は朝読書くらいだったかも知れませんが、読書は自分が直接出会う事のない、作者の経験・考え等を得る事が出来ます。そして又、色んな場所・時代へも誘ってきます。資格試験のように結果が見えるものではありませんが、きっと皆さんの社会性を豊かにし、大学を卒業して社会に出て行く時の財産になっていると思えます。これからの皆さんの活躍を期待しています。



## 祝 卒業 同窓会入会記念号

平成 31 年 2 月 28 日  
(2019 年)

編集・発行  
島田高校同窓会  
〒427-0038  
島田市稲荷 1-7-1 修己館内

～同窓会事務局～  
TEL/FAX 0547-21-1145  
メールアドレス  
kawanami@ab.thn.ne.jp

～学校事務室～  
TEL 0547-37-2188  
FAX 0547-35-1744

同窓生 22,667 名  
71 回生 194 名  
在校生 403 名

同窓会役員 杉本章子 25 回生

## ～さらさら～

『応援バスに乗って、京都に行こう！』私が同窓会活動に係わるようになったのは、ひよんなことからこの駅伝応援バスに乗ったのがきっかけでした。

私の在学中は現在の陸上競技部のような輝かしい活躍はなく、この事実はどうもうれしく誇らしく、母校島田高校を再認識させてくれるものでもありません。また同窓会においても、魅力あふれる皆さんとの出会いがあり、この二つは新たに私の宝物となりました。

長い人生、このようにどこで何が変わるかわかりません。この春輝かしいスタートをきる皆さんの未来には、素敵な出会いがある事でしょう。出会いを大切に、周りの人も家族も、そしてまず、あなた自身を大切にしてください。

「素敵だな！」「うれしいな！」と感じる心こそあなたの財産です。

そして：『あなた自身の宝物』をいっぱい見つけてください。

## 川波賞受賞者

○池田 早帆莉 (31 HR)

全国高等学校駅伝競走大会出場

○相良 珠希 (35 HR)

全国高等学校駅伝競走大会出場

○關 ひかり (33 HR)

NHK杯全国放送コンテスト出場

(H 30)

(H 30)

## 同窓会の活動と主な行事

### 定期総会開催

毎年 8 月に定期総会を開催しています。同窓生となる皆さん、ぜひ出席してください。今年は 8 月 24 日(土)開催の予定です。

### 島高同窓生の集い開催

総会終了後、「2019 島高同窓生の集い」を開催します。今年は 9 のつく回生(9・19・29・39・49・59・69 回生) 中心ですが、同窓生なら誰でも大歓迎です！是非ともご参加ください。

### 六月祭に参加

各界で活躍する卒業生の紹介や、100 年を振り返る写真展示など、毎年工夫を凝らして参加しています。

### 同窓会報「川波だより」発行

同窓会活動の報告、恩師や同窓生の近況、女学校時代の元気な先輩の生き方、また島田高校の様子など、興味深い記事が満載です。

### 在校生支援

充実した学校生活の支援のため、部活動奨励金や奨学金の給付を行っています。

### 「川波賞」とは

島高在学三年間に、学業・部活動・学校教育活動において優れた功績のあった生徒に対し、その活動を讃え、卒業時に賞状の授与と記念品を贈呈。(学校創立 90 周年を機に創設)



同窓会役員 中野偉津子 19 回生

「島高同窓会」って？・・・島高で学んだ歴代の卒業生全員の会の会のことです。

「修己館」の中に事務局を置き、全国の同窓生に向けて情報を発信し、絆を繋いでいます。そして、母校の皆さんの活躍を、自分のことのように喜び応援しています。皆さんが母校を離れても、島高の卒業生で良かったと思ってもらえるよう、修己館から情報発信を続けます。

同窓会役員 中澤正流 24 回生

新しい同窓生を迎え大変うれしく思っています。皆さんは、島高生として100周年を迎え、記念行事、記念式典等を中心となつて関わってきた方々です。その中で身を以つて島田高校100年の歩みの歴史を学びその重みと代々の島高生の思いを知り、体験したことを思います。その貴重な体験を、今後の自分が歩む道の中では非とも役立てて欲しいです。

高校生活の3年間は、何物にも代えがたい時間だと思えます。様々な知識を得、様々な体験をしたことと思います。そして自分のいく道を見つけた人も、まだ迷っている人もいるでしょう。しかし、皆さんの前には多くの選択肢が広がっています。焦る事はないと思います。目標を決めた人はその目標実現の為、まだの人は多くのチャレンジをして、多くの人に出会って自分の道を切り開いて下さい。全国、全世界に活躍をしよう島田高校の同窓生が皆さんの活躍を楽しみにしています。

同窓会役員 高橋琢也 34 回生

卒業生へのメッセージとして思いついたのは「継続」という言葉です。皆さんの3倍ほど生きてきて振り返った時、「継続」してきたことで自分にプラスに作用したことが非常に多いことを再確認しました。特に人的関係の広がりという面では大きな役割を果たしていると感じています。

今後皆さんは、仕事、スポーツ、習い事等多くの事柄に接していくことで、その中で生涯にわたり「継続」できることを得られたら、それは人生において必ずプラスに作用することになると思います。「継続」できる何か、見つけてください！

同窓会役員 鈴木正己 24 回生

「選挙権年齢18歳を考える」

旅立ちの春ですね。高校時代という貴重な3年間、そして受験という大きな壁を乗り越えたことは、大きな自信になるでしょう。環境も大きく変わると思っています。笑顔と元気で、新たな目標に向かって羽ばたいてください。

2015年、選挙権年齢が満18歳に引き下げられました。これは、皆さんが様々なメディアを通じて多様な情報に接してきた世代であり、未来の日本に生きていく世代であることから、政治に関与してもらいたいという意図があるのです。有権者として責任ある1票を投じるため、政治的な教養や、課題を多角的にとらえて自分なりの考えを主張できる力を身につけてください。

同窓会役員 鈴木隆之 25 回生

これから大学に進学する人、社会に出る人、今まで、住んでいた家、家族、街から離れる人も多いと思います。一人で生活するというこの大変さを知ることと思います。寂しかったり、傷ついたり、悲しいこともたくさんあると思います。そんな時思い出してください。故郷があることに。そこには待っている人がいることを。

島高の同窓会は、そんな時のために存在するのかなと思います。島高の卒業生であることを誇りに思ってください。たくさん先輩達が創った伝統を信じてください。

同窓会役員 土屋和彦 26 回生

「Go back to...」

県外に出て一人暮らしを始める方が多いかと思えます。私は親元を離れて暮らし不安感よりドキドキ・ワクワク感で一杯だったのを思い出します(親不孝者?)。今になつてもう一度あの頃に戻りたいと思うのは、やりたい事が出来なかったことより、やりたいことが何だか分からない内に目標も無のまま普通の社会人になつてしまったことです。

皆さんはこれから何でも出来ます。目標に向かって志は大きく！世界に羽ばたいて、そして必ず地元に戻って来て下さい。

同窓会役員 伊藤明実 32 回生

今、新しい生活、新しい出会いに向かい、島高から翔び立つ時。飛距離を伸ばし、ジャンプ台から高く速く離れていきますね。私は在学中に創立60周年を迎えました。新設された体育館での最初の卒業生です。その体育館と同じく自分も歳を重ね、なんと創立100周年の皆さんの卒業が祝いできるとは、嬉しいかぎりです。

この先、どこまで離れようとも、描いた未来とは違うことがあることも、この3年間の生活、3年間の出会いが、勇気となり温もりとなり、支えとなるはずです。何たつてジャンプ台はここ島高、100年分の基盤、かなり頑丈です。約2万人の同窓生が皆さんの着地を応援しています。

ようこそ 島高同窓会へ



同窓会役員 藤本善男 33 回生

「同窓会のつながりで豊かな人生を」 私は、30年以上前に島田高校を卒業した同窓生です。卒業以来母校を訪れることはほとんどありませんでしたが、このたび息子が島田高校に通うこととなった縁で、同窓会活動に携わらせていただいております。

久しぶりに訪れた島高は当時と同じ校舎、至る所に思い出が残っており、懐かしさとともに自分を育ててくれた貴重な場所だということを感じさせてくれました。皆さんにとつて島田高校の存在が大切なものだと感じるまでには、少し時間がかかるかもしれませんが、同窓会では同窓生のつながりを深める活動や、在校生への支援を行っています。青春の記憶の残る高校生生活を歩んでいただきたいと思えます。

同窓会役員 有田二穂 34 回生

座右の銘は「人間万事塞翁が馬」。中国で昔、塞翁の飼い馬が逃げたが、後に立派な馬を連れて戻った。塞翁の子がその馬から落ちて足を骨折したが、そのために戦争に行かずにすんだ。それらのことから、人生における不幸は予測しがたく、いつ幸せが不幸に、不幸が幸せに転じるかわからない。安易に喜んだり悲しんだりするべきではないという話。正しい意味はそうですが、私は「物事は常に良い方に転がる」と自己解釈しています。誰の人生も決して平坦ではありません。ですが、挨拶と感謝を忘れず笑顔で過ごす。(辛い時はもちろん泣く。)

きつとその先がいいことが待っています。

同窓会役員 大石聡 42 回生

大学卒業後、もう四半世紀も前の話ですが、当時私は名古屋市内のそこそこ繁華街周辺のアパート4階に住んでいました。とある深夜、就寝中の私は窓の外から「れろ〜んざん〜わ〜か〜き〜」という歌声(叫び声?)に眠気を絶たれました。

皆さんも島高の生徒という枠から違う世界に飛び出しても、何かの拍子に、より島高を感じる瞬間に出会うこともあると思います。私の場合、こんな愚にもつかない経験ですが、ちよつとした感動・感慨と思わず微笑んでしまう瞬間でした。そんな素敵(?)な邂逅が皆さんにもあらんことを!

71 回生の学年委員さん

- 31 H R 大村海誠 船越亜美
- 32 H R 斎藤佑弥 平田美月
- 33 H R 渡邊純基 鈴木夏帆
- 34 H R 志水隆人 平方杏美
- 35 H R 清水貴久 杉本記慧
- 36 H R 吉川竜太 中嶋唯愛

ようこそお願ひします!

